

## 会 議 録

|     |                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------|
| 件 名 | 柱本小学校と三石小学校の再編統合計画に関する説明会・意見交換会（三石小学校保護者）                                |
| 日 時 | 令和8年6月6日（土）午前10時00分から午前10時45分まで                                          |
| 場 所 | 三石小学校 体育館                                                                |
| 参加者 | 保護者 5名（家庭数 4）<br>今田教育長、岡教育部長、阪口参事、家田学校再編推進室長、棚田学校再編推進室長補佐、南指導主事、東主任、今山主任 |

教育長挨拶、資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1－1. 再編統合で柱本小学校が三石小学校と一緒になるということですが、なぜ三石小学校も一旦閉校して完全に新しい学校にしないといけないのか。吸収合併みたいな、引き続き同じ帽子や体操服を使ったりするのであれば、三石小学校をそのまま残しておく選択肢はないのか。

（教育委員会）

学校再編の観点で、2つの学校を併せ持つて今よりも学習環境を良くしていこうという取組・考え方です。規模が小さい学校が規模の大きい学校に吸収される場合は統廃合という表現をよく使うんですけど、今回は学校再編ということで、規模の大小にかかわらず、場所は三石小学校になりますけども、お互いの学校のいいところでもちより、より良くしていこうという観点で進めています。

制服とか帽子をどうしていくかは、再編準備委員会で決めていただくことを考えてます。施設につきましても、開校するにあたって、一定の整備を考えているところです。

1－2. 三石小学校の学童は結構人数が増えて、3教室に増えてもパンパンというのを聞いているんですけど、さらに児童さんが増えた場合はどうなるのか。ちょっと学童のことが心配です。

（教育委員会）

学童につきましても、学童の運営団体さんに説明をさせていただいて、柱本小学校で利用されている児童が増える形にはなるので、こういった形で学童を進めていくのかを協議をしていきます。スペースの問題ではなくて、場所の問題もあるかと思いますので、利用者の方のニーズは汲み取るような形で考えていきたいと思います。

もし収容力の問題で足りなくなった場合は、新たに設けるか、別のスペースで設けるかを改めて考えるということになります。

2. 6年生は最後に主役じゃないですけど、いろんな役をやらしてもらってとかがあるので3年後を楽しみにしてるところもあります。

3. メンタルケアについて、何十人が一斉に入ってきて、慣れやすい子もいれば慣れにくい子もいる。6年生だと修学旅行もあるが慣れないまま卒業していくのも仕方がないのかなと思う。クラス替えもあり、人数が少ないので柱本小学校の方が不安に思う子は多いかもしれない。

(教育委員会)

児童のケアについては一番対応が重要な部分であると考えています。先ほどの説明の中でもあったんですけども、アンケートを取らせていただいていますのは、再編統合の2年ぐらい前から、子供たちも2年後に学校が一緒になるということをきちんと伝えた上で、一緒になったときに、どんなことが心配なのか、逆にどんなことが楽しみなのか、お友達が増えるかとか、逆にあんまり知らない子が来るので不安だとか、それぞれの子供でも違いがあると思います。まずはアンケートをとって、子供さん一人一人の心情を把握して、その内容によって、それぞれの子供に応じた対応をしていく必要があると考えています。

再編統合がさらに近づいてきた時に、心境も変化していくことも考えられますので、1回目のアンケートを取った後、次はどうしていくのかも、その結果も見ながら進めていく必要があると思っています。

一緒になった後も、子供がやっぱり良かったよ、まだこんなところが不安だよというのはあると思いますので、事後もそういった把握をしていくことも考えられます。もう1つ、学校間交流と説明させていただいたのが、そういったことを事前にやって、一緒になる前のお友達関係のきっかけづくりをして、顔も知っている、話もできるというような環境を、一緒になる前に作っていく、できるだけ急に初めましてみたいなことにならないような形で、丁寧に進めていきたいと考えています。

4. 6年生の子が柱本小学校の子と三石小学校で一緒になると、紀見北中学校に上がったときにメンバーが変わらないままずっと続くと思うんです。中学校だったら、いろんな学校が一緒になって学ぶ感じはあると思うんですけど、今のままだと、メンバーが変わらずずっと一緒に行って、紀見北中学校はあり続ける形になりますか。

(教育委員会)

将来的に橋本市の中学校の数を5校から4校にする構想はありますが、現在は紀見北中学校を再編するという計画はございません。

今、三石小学校と柱本小学校では、それぞれの学年でどんな勉強をしましょう、どういう特色ある教育をしましょうというのを、それぞれの学校で教育計画というものを立てて実施してくれています。同じようなこともあれば、違うこともあります。もし一緒になり

ますということが決定されたら、学校が主になって決めてもらうことなんですけれども、例えば三石小学校だったらこういう特徴がある取組をしているけど、これは一緒になったときも残していこうか。柱本小学校だったら、棚田があるのをご存じでしょうか。メディアにも取り上げられたと思いますが、農業体験などの活動を遠いんだけれども、子供たちに体験させようかという計画を、先生方で作ることを準備委員会の中の部会というところで検討してもらいます。

今やっていることのさらに良いとこどりをできたらいいと思っているんですけど、全部詰め込むわけにもいけないので、その中で本当に子供たちにとって必要なのはどれかということを考えながら、学習内容については学校が主になって、教育課程というもので計画していきます。準備を前もって進めていきますので、本当に今よりもいい形で、先生方が考えていってもらえるように、私たちとしては支援していきたいと思っています。